

## 第 2 評価グループ 評価調書

< 第 2 評価グループ >

中村 和之 委員 (座長)

小林 明夫 委員

海老 征二 委員

福田 千尋 委員

## 1 婚活イベント実施支援 (未来創造課)

## 事業概要

少子化に伴う人口減少への対策を推進するため、結婚を希望する独身男女の出会いの場を提供する婚活イベントの実施及び各種団体が実施する婚活イベントへの支援を行う。

## 委員の主な意見

本事業は極めて政策的な事業であり、どの市町村も活発に取り組んでいる。

婚活支援にはまだ定まった形がないので、色々と試行錯誤してみるべき。

行政がどこまで関与するのが難しい。こういった事業は行政が過度に関わると大概失敗する。

「いみずムズムズ婚活パーティー」(市が実施する婚活イベント)については、今年度から民間事業者への委託をやめて、婚活サポーターズクラブによる運営に移行することで事業費の削減につなげたとのことだが、実質的には市職員がほとんどの事務を行っており、実際にはコスト削減につながっていない。

市職員が「いみずムズムズ婚活パーティー」の企画運営まで直接行う必要はないと考える。当面は運営に関するノウハウを蓄積しつつ、市職員の関与を徐々に減らし、なるべく早期に婚活サポーターズクラブによる主体的な運営となることを目指すべき。

婚活イベントの成否は運営主体の能力にかかっている。婚活サポーターズクラブの運営能力を向上させるため、コンサルタント料を払ってでも、民間のノウハウを取り入れるということを検討するべき。

婚活サポーターズクラブは設立して間もないことから、まずは組織の育成に努め、将来的には、婚活サポーターズクラブを民間団体が実施する婚活支援イベントへアドバイザーとして派遣するなど、有効な活用方法について検討するべき。

婚活支援を市単独で推進するだけでなく、例えば、県が行っているマリッジサポートセンターへの登録料を補助するなど、県の事業を活用するという視点も必要である。

事業目標を設定し、成果をしっかりと検証した上で、今後の事業の方向性を検討すべき。併せて、男女出会いイベント等支援事業費補助金についても定量的な指標に基づき、効果の検証を行うべき。

成婚だけを追い求めるのではなく、市内への定住や出産など、婚活支援の先を見据えた取組をPRするべき。

#### 評価

事業目的である少子化対策及び人口増対策につながっているか検証することが重要であることから、明確な成果目標を設定し、検証結果を事業内容に反映されたい。

また、婚活イベントにおける市職員の関与の軽減を図るため、早期に婚活サポーターズクラブによる主体的な企画運営に移行できるよう組織の育成に努められたい。

併せて、その育成による効果が、事業全体の成果の向上につながるよう、婚活サポーターズクラブの活動内容について検討されたい。

## 2 ミライクル館管理費（環境課）

#### 事業概要

ごみの減量化及び低炭素・循環型社会の構築に向けた環境啓発を推進するため、市民が環境について学び、体験する場を提供するミライクル館プラザ棟を管理運営する。

#### 委員の主な意見

研修室の稼働率は5パーセントにも満たず、かなり立派な施設であるのにもったいない。

まずは環境啓発に関する取組をしっかりと実施し、それ以外の方法で稼働率を高めるためにどのような取組ができるのかを検討するべき。

施設利用者にアンケートを行い施設運営に反映させるべき。

小中学生の施設見学は環境教育の観点からも大切である。小中学校からの施設見学の増加に努めるべき。

施設管理業務においては、既に長期包括運營業務委託により民間活力を導入しているが、施設で実施する事業の企画運営においても、民間活力を取り入れられないか検討すべき。

研修室を有料で貸室として活用することも検討すべき。周辺には企業が集積していることから、会議や研修でのニーズも十分に想定できるのではないか。

研修室を地域や企業なども利用できる貸室にすることで、施設利用者を増やせば、施設内の展示物等を見てもらう機会にもなり、結果的に環境啓発につながると考える。

#### 評価

研修室の稼働率が５パーセントにも満たないことから、本施設の環境活動の拠点としての趣旨に沿った稼働率の改善に取り組むとともに、貸室として地域や周辺企業の利用を可能とするなど来館者の増加につながる取組を講じられたい。

### 3 中央公民館管理運営費（生涯学習・スポーツ課）

#### 事業概要

生涯学習の展開を図るため、市全体の生涯学習・交流事業の活動拠点としての機能を有する中央公民館を管理運営する。

#### 委員の主な意見

貸室の稼働率はどの部屋も一桁から１０パーセント台であり、どのようにして稼働率を高めるのが課題である。

指定管理者に自主事業の実施を検討するよう働きかけるべき。

貸室は企業の研修や会議でも使用されている。立地条件を考えると、このようなニーズはもっとあるのではないかと考えるのでPRをするべき。

中央公民館の稼働率が低い理由のひとつとして、社会教育法に基づく公民館であるために、営利目的での使用が制限されていることがあるのではないか。

本施設は貸室が９室もあり、どの部屋も稼働率が低いことから、現在の利用者を阻害せずに公民館の部分をダウンサイジングすることが可能である。

短期的には稼働率の向上に努めるとともに、長期的には中央公民館そのものの廃止も含めた抜本的な見直しを検討すべき。

周辺には新湊交流会館があり、同じように貸室を提供しているが、稼働率が低いという共通の課題があることから、それぞれの所管課が連携することを検討す

るべき。

貸室が集積していることを長所として捉えれば、活用方法も広がると思うので、新湊中央文化会館や新湊交流会館と一体管理による有効活用について検討するべき。

指定管理者の収支が赤字になっているが、使用料の減免を受けて利用している団体やサークルが多いことが原因のひとつではないかと考える。減免の在り方について精査する必要があるのではないかと考える。

使用料を減免するという事は、利用団体に対する事実上の補助金であると考えられるので、減免額を可視化するべき。また、減免利用においても、事業コストが発生することには変わらないので、最低限のコストを負担してもらうことも考えなければ、指定管理者は使われただけ損をすることになる。

当該施設に限らず、現行の指定管理者制度においては、指定管理者が努力して収入を伸ばす、あるいは支出を削減した場合には次期の指定管理料が削減されてしまうので、指定管理者のインセンティブが働くように制度の見直しを検討するべき。

#### 評価

貸室は年間開館時間のうちの8割以上において利用されていないことから、稼働率の改善につながる取組を講じられたい。

そのためにも、まずは施設のPRを図ることも大切であるが、社会教育法に基づく公民館としての運用がニーズに沿ったものであるかを検証し、より柔軟な運用について検討されたい。

使用料については、減免による利用状況を明らかにするとともに、受益と負担の見直しについて検討されたい。

併せて、新湊中央文化会館及び周辺で同じく貸室を提供している新湊交流会館との一体管理による有効活用についても検討されたい。

## 4 海竜スポーツランド維持管理費（生涯学習・スポーツ課）

### 事業概要

市民の健康増進とスポーツ・レクリエーションの振興を図るため、屋内温水プール及びアリーナ等の室内運動施設を有する海竜スポーツランドを管理運営する。

#### 委員の主な意見

指定管理者は、自主事業を積極的に展開しており、利用者の増加やサービスの向上に向けた取組について評価できる。

現在の使用料は近隣他自治体の室内温水プールの料金と比較してかなり安い。

今後、施設が老朽化し修繕に多額の費用が必要となることから、長期的な経営の視点から使用料の見直しを検討すべき。

併せて、時間別の料金設定も検討すべき。

70歳以上の高齢者が150円で施設を利用できるのは安すぎるので、見直しを検討すべき。

市外からの利用者に対して割増料金を導入することも検討すべきと考えるが、併せて、市単独で施設を維持することを考えるのではなく、広域連携の考え方に立った在り方の見直しも検討すべき。

市民の健康維持という観点から、医療機関との連携を検討すべき。

#### 評価

本施設は、市内外を問わず多くの方に利用されており、指定管理者も自主事業を積極的に展開し、利用者の増加やサービスの向上に努めており評価できる。

しかし、提供しているサービスや設備等を鑑みれば、使用料は他市の類似施設と比べ安価である。今後は更に施設の老朽化に伴い修繕費の増加が見込まれるとのことから、長期的に安定した運営に見合った受益者負担の見直しを検討されたい。

また、その際には、高齢者の割引料金の見直しなど、料金体系の見直しも検討されたい。